

## 令和6年度 事業計画

### 1 はじめに

令和5年版厚生労働白書によると、本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎えようとしており、我が国の人口は2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、2070年には、約30%減少し総人口が9,000万人を割り込むと推計されています。2022年の出生数は、80万人を割り込むなど、急速に少子化が進展している一方で、2025年には、「第一次ベビーブーム期」に生まれた（「団塊の世代」）全ての者が75歳以上の後期高齢者となり、さらに、2040年には、「第二次ベビーブーム期」に生まれた（「団塊ジュニア世代」）全ての者が65歳以上となり、2070年には65歳以上の高齢者の割合が38.7%になる見通しであります。

しかしながら、公益社団法人四街道市シルバー人材センターにおいては、入会前の直近に就労経験のない方の入会は非常に少なく、わずか1%程度という統計があり、「高齢者就業確保措置（70歳までの就業機会を確保）」の状況や会員の高齢化（令和5年12月現在の平均年齢は、76.4歳）等の影響は、あと数年続き、新規会員の確保と会員数の維持は非常に難しい課題になると推察されます。

一方、令和5年版高齢社会白書では、「分野別の高齢社会対策」の中でシルバー人材センター事業について触れており、高齢社会対策の一躍としての期待が窺えます。

同白書では、「社会活動に参加した人は健康状態が良い」としたうえで、社会参加活動により、健康や体力に自信がつき、それが生きがいにつながることも考えられると考察しています。加齢に伴う心身機能や認知機能の低下を予防し、健康寿命の延伸を実現するため、高齢者の社会参加活動を促進する取組や、（中略）、高齢者の社会参加活動が健康や生きがいを生み出し、それが更なる活動につながり、コミュニティづくりにも貢献するという健康の好循環の実現が図られるよう、各地域の実情に応じて取り組むことが期待されるとまとめています。

本年度は、後期5か年計画（中長期計画）の初年度となります。シルバー人材センター事業は、「自主・自立・共働・共助の基本理念」をスローガンに、高齢者が働くことの中に生きがいを見つけることが目的のひとつであり、就業は発注者の希望に応え、高齢者らしく丁寧な仕事を履行することにより、地域でその社会的義務を果たすことに繋がるとともに、社会参加・社会貢献をすることが大切です。そして、就業の機会、その他社会的活動に参加する機会を提供する役割を担うのがシルバー人材センターです。「生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与する」という目的を達成するために、地域に住む高齢者の相互扶助活動や生活支援活動を行うなど、高齢者問題解決の担い手として、地域社会や地域住民の皆様に認知されるよう努めるとともに、地域社会において信頼感と存在感のある組織であるよう取り組まなければなりません。そのために、以下に述べる事業目標の必達を目指し、会員、役職員が一丸となりチャレンジしていきましょう。

## 2 本年度の事業目標

本年度の事業目標は、以下のとおりとします。

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1) 会員数    | 520人      |
| (2) 受託契約高  | 2億4,102万円 |
| (3) 就業延べ人員 | 52,985人日  |
| (4) 受注件数   | 3,605件    |
| (5) 重篤事故   | ゼロ        |

## 3 基本計画

公益社団法人四街道市シルバー人材センター（以下、「センター」という。）は、本年度の事業目標を達成するために、引き続き新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策を講じつつ、事態の進展にあわせて次の基本計画を実施します。

### (1) 新型コロナウイルス等感染症拡大防止対策

- 1) 「新型コロナウイルス等感染防止対策ガイドライン」の周知を図る
- 2) 新型コロナウイルス感染症に関する情報の収集と提供に努める
- 3) 「新しい生活様式」の中での事業実施方法を検討し、その実施に努める
- 4) ITの活用推進も含め、感染症拡大防止を意識した事業展開を検討する
- 5) その他、感染症の拡大防止対策に関すること

### (2) 新規会員の確保と会員の維持

センター発展の基本となる会員の確保と維持の対策として、次の具体的な取り組みを進め、働く意欲と豊富な知識・経験を持つ高齢者の入会を積極的に推進するとともに、退会会員の抑制に努めます。

- 1) 入会説明会の開催方法、説明内容等の見直しを図る
- 2) チラシ、リーフレット等による市民及び企業等への啓発に努める
- 3) 地域班や職群班を中心とした、会員による口コミ活動等の実施に努める
- 4) 適正かつ迅速な入会承認及び就業機会の早期提供を図る
- 5) 就業相談等を行い、退会会員の抑制に努める
- 6) その他、会員の増強に関すること

### (3) 就業の場の開拓

会員の増強・拡大を図る上でも重要な課題となる、就業機会の創出と確保に努めます。

- 1) 労働者派遣事業の強化に努める
- 2) 分かち合い就業の推進に努める
- 3) 新入会員への積極的な就業支援に努める
- 4) サービスと技術の向上と技術・技能の伝承を図る

- 5) 地域に密着していることを強く意識した就業機会の創出に努める
- 6) 80歳を超えても、安心安全に就業できる機会の創出に努める
- 7) その他、就業機会の創出に関すること

(4) 地域活動とボランティア活動の強化

- 1) 「四街道市高齢者見守り活動に関する協定」による高齢者見守り活動を実施する
- 2) 「四街道市空家等の適正な管理の推進に関する協定」による、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に寄与する
- 3) 会員の能力や知識を活用した、ボランティア活動や文化活動等の計画づくりと実施機会の創出を図る
- 4) 市民を対象とした講習会や研修会の企画、実施に努める
- 5) その他、地域の貢献に関すること

(5) 組織体制の強化

- 1) 法令等への対応を検討し、契約方法の見直し等、体制の整備に努める
- 2) 会員研修会等の開催を図る
- 3) 専門委員会等の活性化を図る
- 4) シルバー人材センターの適正就業ガイドラインに沿った事業運営に努める
- 5) 会員親睦会との連携を強化し、会員の相互扶助と福利厚生に務める
- 6) その他、組織体制の強化に関すること

(6) 安全・適正就業の推進

- 1) 会員の高年齢化の中、一層の安全就業をめざし、事故防止に努める
- 2) 安全・適正就業の内容や形態を点検し、適正就業への改善に努める
- 3) 市民等利用者からの信頼や仕事のリピートを高めるために、会員への各種講習会・会議等の機会を捉え理念の浸透、待遇意識等の向上に努める
- 4) その他、安全・適正就業の推進に関すること

(7) 各種業界団体やハローワーク等関係機関との連携

- 1) 各種業界団体等との連携を通じ、シルバー人材センター事業の活用について働きかけを進める
- 2) ハローワーク等関係機関との連携を通じ、会員増強の機会に努める

(8) 地域社会において信頼感と存在感のある組織を目指した事業の検討

多様な社会参加活動を援助して、生きがいの充実と福祉の増進を図り、活力ある地域社会づくりに寄与するとともに、シルバー人材センター事業の普及と魅力あるセンターの啓発並びに会員増強のため、地域班、職群班、会員親睦会と連携して、会員のみならず市民も対象とした事業の実施を検討する。